

第二中学校区適正化 推進委員会たより No.2

令和元年9月 発行
沼津市教育委員会事務局 教育企画課
所在地：沼津市御幸町 16-1
TEL：055-934-4821
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今号では、8月27日（火）に開催した推進委員会での内容についてお知らせ
します。



第二中学校区の適正化案を比較しました

第二中学校区の児童生徒数は減少傾向にあり、特に千本小では、数人の減少で複式学級を編制することとなる学年があるため、学校統合による適正化が急務となっています。

そこで、推進委員会では、第二小・千本小・第二中の今後の方向性を考えるにあたり、第二中学校区における適正化案として3つの案を委員にお示しし、それぞれのメリット・デメリットについて説明の上、意見交換を行いました。

案① 第二小と千本小を千本小校舎で統合（第二中学校区内で統合）

この案では、第二小の児童が新たに千本小へ通学することになります。

◎メリット…開校年度は最短で令和4年度と見込んでおり、複式学級発生への対応策として、最も早く解決を図ることができる案であると考えます。

▲デメリット…適正化後も児童生徒数の減少が続くことにより、全学年で単学級になることが見込まれており、改めて、隣接する中学校区の学校との統合を検討する必要があります。また、この案では、第二中の生徒数は増えないため、部活動によっては人数不足で活動が厳しいという現状は変わりません。なお、千本小校舎では教室数が不足するため、既存の校舎の中で学習室等の多目的教室を普通教室に転用するなどして、不足分を解消するための整備が必要です。

案② 第二小校舎を小中一貫校化（第二中学校区内で統合）

この案では、千本小の児童と第二中の生徒が新たに第二小へ通学することになります。

◎メリット…9学年の系統的な小中一貫教育が可能となります。開校年度は最短で令和4年度と見込んでおり、案①と同様、複式学級発生への早期対応が可能です。教室数も放課後児童クラブの広さも、どちらも現在の第二小校舎で確保できる見込みです。

▲デメリット…静岡県による第4次地震被害想定では、第二小校舎は津波の浸水区域内にあり、新たに適正化を図る施設としては相応しくないのではないかと考えます。また、案①と同様、適正化後も隣接する中学校区の学校との統合を再検討する必要があるほか、第二中での部活動における人数不足という現状は変わりません。さらに、第二小校舎では老朽化が進み、その対応も必要となります。



案③ 第一中学校区との統合

この案では、第二小と千本小の児童が新たに第一小へ、第二中の生徒が新たに第一中へ通学することになります。

◎メリット…2つの中学校区の統合によって児童生徒数が増加するため、複式学級発生への対応策として、最も効果のある案であると考えます。部活動における人数も増加し、各部において十分な人数が確保できる可能性が高まります。隣接する中学校区の学校との統合についても当面は必要ないと考えられます。

▲デメリット…開校年度は最短で令和5年度と見込んでおり、複式学級への対応時期としては案①②より遅れます。また、第一小校舎及び第一中校舎では教室数が不足するため、既存の校舎の中で学習室等の多目的教室を普通教室に転用するなどして、不足分を解消するための整備が必要です。

推進委員会での意見は・・・

推進委員会では、多くの委員から案③を推す意見が出されました。

<推進委員会での主な意見>

- ・案①を選択すると再統合の可能性があるということは、数年かけて第二中学校区内で統合できたと思ったら、またそこから数年かけて再統合を目指すということ。今こうやって統合するために多くの人員、費用、時間を割いて検討しているが、これを繰り返すのか。案③しかないと思う。開校年度は可能な限り早まるように努めれば良いし、第一中学校区も含めた委員会を早期に立ち上げるべきである。
- ・沼津市はそもそも人口減少が激しい。子供を増やさなければいけないし、子供を産みやすい環境づくりが最優先。①か③かと聞かれても判断は難しい。
- ・子供は今後も増えていかないと思われる。目先の千本小よりも長い目で見て第一中学校区との統合を目指すべき。部活の選択肢が少ない現状では、子供がやりたいと思うことをやらせてあげられず、親として歯がゆい思いをしている。
- ・クラス替えは子供にとっては一大イベント。人間関係が固まることを防ぎ、良い意味でリセットすることができる。クラス替えを経験させてあげられる環境を望む。
- ・同級生は大人になってからも心強い。同級生は多い方が良い。第二小校舎を使用しなくなる場合は避難場所として残してほしい。
- ・学校の統廃合の話を地域に持ち帰ると様々な課題について意見が出るが、何よりも子供たちのことを第一に考えていくべきである。

↓推進委員会の様子



今回いただいた意見については、今後、第二中学校区での説明会や保護者アンケートを行う上での参考として、児童生徒にとってより良い教育環境の整備に役立てていきたいと考えております。これからも、推進委員会での協議、教育委員会での検討経過などについては、このたよりを通してお知らせしていきます。